

のしろ市議会だより

わたし まち

2018年(平成30年) 1月25日 第47号



移住・Aターンインタビュー 能代暮らし、はじめました（左から高濱遼平さん、奈保子さん夫妻、湊哲一さん）

◆ 特集対談 ◆

移住・Aターン

特集	2P
12月定例会の概要・審議結果一覧	3P～5P
一般質問	6P～8P
議会運営委員会行政視察報告 ほか	9P
各委員会での主な審議概要	10P～11P
議長・議会の主な動き ほか	12P

◆特集対談◆移住・Aターン



高濱夫妻が経営する木の香りが漂う店内

今回は移住・Aターンをテーマに、富町で注文家具を営む木工職人の湊哲一さん、彩霞長根でナッツ・ドライフルーツ専門店を営む高濱遼平さん、奈保子さん夫妻の3名にインタビューさせていただきました。

なお湊さんは、中心市街地の空き店舗を使って開業しようとする方を対象とした「空き店舗流動化支援事業」を、高濱さんは、市内で新たに事業を始めた方を対象とした「起業支援事業費補助金」を活用しています。

Q 移住したきっかけを教えてください。

遼平さん 6年ほど小田原市でナッツのお店を営業していましたが、妻のおばあさんや御家族が住む能代で過ごせたらと考え始め、移住を決めました。

奈保子さん 私にとっては故郷能代にAターンしたことになりますね。地域の商品をつくりたいという思いがあり、平成29年9月に開店しました。湊さんには店内の棚やテーブルをつくっていただきました。

Q 湊さんもAターンされましたが、能代で商売を続けることに不安はなかったですか。

湊さん 不安は今もあります。私は横浜市に住んでいましたが、横浜市とは人口規模も違うため、価格帯や売り方も考えなければいけません。常に模索しています。

Q 移住や事業を継続される上で市の制度は活用されましたか。

湊さん 木材を加工する際に音が出るので、物件探しには苦労しました。条件の合う物件が対象地域を少しでも外れると補助制度の要件を満たさないため、条件を緩和してもらえたら、起業や移住する人も利用しやすくなると思います。

Q 店内に入ると木の香りに癒やされますか。木に対してはどんな思いがありますか。

遼平さん その点は同感で、お店をやっていた人が移住後に事業を継続しても新規の起業扱いとはならず、受けられる制度に限りがありました。あと情報収集にも苦労しました。

奈保子さん 木都を感じる空間にしたかったです。恥ずかしながら能代にいるときは木都のことをよく知りませんでした。今の子供たちには小・中・高校と木都にふれる機会をふやしてほしいです。

遼平さん 木都を生かして、この地域の文化を学んだり知ることのできる場所がふえてほしいです。

湊さん 能代駅前はまだ木造の建物が多く、中心部に集える要素は残っています。廃業を考えている大工や木工所などから道具を譲っていたことで、移住や起業を考えている若手に手伝えることがあると考えています。木の香りが漂っていたり、加工する音が聞こえたり。木都の文化が感じられるまちづくりができると思っています。

Q 今後の活動または市に望むことをお聞かせください。

湊さん ほかの地域では教育で森や水といった自然を生かした学習をしています。能代にも思われた環境があるので、そんな取り組みをふやし、興味を持った子がいずれは能代に帰りたいと思えるようになってほしいです。

奈保子さん 実はお店のスタッフも相模原市から移住しました。地元紙でもAターンした方が紹介されていたので、意外にいるのかもしれないですね。お互いの話をしたり、交流する機会があればいいですね。

遼平さん 地元産の柿やハマナス等を生かした商品づくりをしていきたいです。カフェやバーの経営を考えている人が実際に練習できるスペースを店内につくりたいです。何よりも、能代の水道水と食べ物のおいしさに感動しています。

取材に御協力いただき、ありがとうございました。

取材：落合康友 佐藤智一 菅原隆文

12月定例会の概要

29年度一般会計補正予算は賛成多数で可決

12月定例会は、12月5日から12月20日まで16日間の会期で行われました。提出された議案は、一般会計補正予算など全34件と、議員発案の条例の一部改正案など3件のほか、継続審査となっていた平成28年度一般会計決算及び特別会計決算の認定1件で、審査の結果、37件の議案を承認・認定・可決し、議員発案の議員の定数を定める条例の一部改正案（22人を18人に改める）は否決しました。よって、議員定数は22人から20人に決まりました。

なお、一般会計補正予算の議会費において、タブレット操作研修業務委託料を削減する修正案が提出されましたが、賛成少数で否決しました。

また、陳情は1件を採択、4件を不採択としました。また、庁舎整備特別委員会を解散しました。

◆市の基本構想を定めました

本市における総合的かつ計画的な行政の運営を図るため、平成30年度からの10年間の計画期間とした、新たな基本構想を定めました。

主な単行議案

◆能代市道の駅ふたつ条例を制定しました

◆二ツ井総合観光センター条例を廃止します

日本海沿岸東北自動車道の延伸に伴う一般国道7号二ツ井今泉道路事業により、現在の施設を廃止することから、新たに道の駅を設置します。また、二ツ井総合観光センターを平成30年6月1日に廃止します。

◆指定管理者を指定しました

（指定期間 平成30年4月1日～35年3月31日）

【保坂福祉会館松寿園】

能代市老人クラブ連合会

【松籟荘、能代市緑町デイサービスセンター、能代市緑町グループホーム、能代ふれあいデイサービスセンター】

社会福祉法人能代市社会福祉協議会

【能代市技術開発センター、能代市木の学校】

能代木材産業連合会

（指定期間 平成30年4月1日～32年3月31日）

【能代市東デイサービスセンター】

社会福祉法人能代市社会福祉協議会

◆能代市公民館条例の一部を改正しました

◆財産を無償譲渡します

能代市二ツ井公民館馬子岱分館を廃止し、建物等を馬子岱町内会へ無償譲渡します。

◆能代市農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数に関する条例を制定しました

農業委員会等に関する法律の一部改正に伴い、農業委員会の委員の定数を19人に、農地利用最適化推進委員の定数を18人に決めました。

専決処分の承認

◆平成29年度能代市一般会計補正予算（第5号）3192万6000円、（第6号）190万円

一般会計補正予算

補正予算（第7号）1億1292万円、（第8号）955万5000円が追加され、予算総額は292億6035万5000円となりました。

補正予算の主な内容・事業

◆衆議院議員選挙費

3181万8000円

◆衆議院議員選挙臨時啓発費

10万8000円

衆議院の解散に伴い、衆議院議員総選挙及び最高裁判所裁判官国民審査の執行のため、緊急に必要な経費を専決処分しました。

◆タブレット操作研修業務委託料 5万円

議員等が実際にタブレット端末の操作の体験をするともに、利活用事例の講習を受け、議会におけるタブレット端末の利活用について認識を深めます。

◆道の駅ふたつ整備事業費

7341万6000円

備品（厨房機器類）購入費を追加します。

◆旧慣による交付金

1492万7000円

一般国道7号二ツ井今泉道路用地及び能代地区線形改良事業用地の売り払いに伴い、旧慣による交付金を追加します。

◆機構集積協力金事業費

1743万6000円

申請件数が増えたことにより、機構集積協力金を追加します。

特別会計補正予算

・簡易水道事業特別会計補正予算
・浄化槽整備事業特別会計補正予算
・介護保険特別会計補正予算

企業会計補正予算

・水道事業会計補正予算
・下水道事業会計補正予算

※専決処分…長（市長等）が議会を招集するいとまがない場合などに、議会の議決を要する案件や議会が長に委任した事項について、議会に代わって長が処分すること。長はこのことを次の議会に報告し、承認を求めることとなります。

28年度一般会計と特別会計の決算を認定

10月31日に決算特別委員会を開催し、一般会計と10の特別会計の決算を審査しました。一般会計の総額は、歳入総額298億8888万4319円、歳出総額291億4935万1633円で、歳入歳出差引額は7億3953万2686円。全特別会計の総額は、歳入総額162億1718万2874円、歳出総額157億1852万2116円で、各特別会計とも黒字決算または収支同額でした。審査の結果、決算を認定しました。

特別委員会における一般会計の主な質疑に対する答弁概要は次のとおりです。

歳入

【実質単年度収支】
 実質単年度収支が平成20年度以来初めて赤字となった主な理由としては、財政調整基金の積立金が減少し、繰出金が増加したことのほか、27年国勢調査に基づく人口の減少及び合併算定がえの段階的縮減に伴う地方交付税の減額が考えられる。これを境に今後こうした財政状況が続くと見込んでいます。

【経常収支比率】
 今後、扶助費や公債費の増加が予測されるなど経常収支比率が上がる傾向にあると考えている。市としては、自主財源の確保が重要であると考えており、具体的には給与所得や農業所得を伸ばす施策を実施することで、個人市民税をさらにふやすよう努力したい。

【ふるさと納税寄附金】
 返礼品として地元の特産品を拡充し、地域経済に寄与するとともに、「シティーセールス」につなげていきたいと考えている。

歳出

【納税貯蓄組合補助金】
 補助金の内訳としては全市的な連合会に対する運営費補助金と納付事務を行っている二ツ井地域の34組合に対する事務費補助金だが、二ツ井地域は収納率が他と比べ4から8ポイント高く、補助金の効果はあると考えている。

【元氣・交流200円バス事業】
 28年度の新規交付者は361人で、全体の交付者は4938人。交付者アンケート調査結果によると、利用目的は1位が通院、2位が買い物となっており、高齢者の生活に必要な交通手段と思われることから、今後も事業を続けていきたい。

【デュアルシステム事業】
 28年度は延べ155人の生徒が29社で職場実習を行った。そのうち18人が実習した会社に就職しており、一定の成果があったと考えている。

【住みリフォーム支援事業】
 28年度からファミリー世帯の定住促進や空き家対策として補助対象の範囲を拡大しており、総額6593万9000円の補助をしたが、その対象工事費は約7億5200万円と補助額の11・4倍あり、住宅関連産業等を通じて地域経済へ一定の効果があつたと考えている。

【不登校児童生徒対策事業】
 適応指導教室はまなす広場における学校に復帰するためのならし教育、風の子電話による相談、児童生徒支援アドバイザーによる学校訪問、学級や児童生徒一人一人の状態を把握するためのQ1Uテストの実施等により、不登校及び不登校傾向の解消と防止に引き続き努めていきたい。

審議結果一覧

○：賛成 ●：反対 欠：欠席 一：退席
 ※議長は可否が同数の場合以外は採決に加わりません。

議案番号等	議案名等	採決結果	平政・公明党								希望					改革ネットワーク (市民の声、日本共産党、改革のしろ)				議会改革を推進する諸派の会			
			渡邊正人	落合範良	針金勝彦	原田悦子	庄司紘八	渡辺優子	後藤健	藤原良範	武田正廣	菅原隆文	佐藤智一	伊藤洋文	安井和則	菊地時子	小林秀彦	安岡明雄	渡辺芳勝	藤田克美	小野立	落合康友	中田満
71 (継続審査)	平成28年度能代市一般会計及び特別会計決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
(承)11	専決処分した平成29年度能代市一般会計補正予算の承認を求めることについて	承認	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
(承)12	専決処分した平成29年度能代市一般会計補正予算の承認を求めることについて	承認	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
73	基本構想について	可決	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
74	能代市道の駅ふたつい条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
75	旧慣による公有財産の使用権の廃止について	可決	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
76	土地の処分について	可決	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
77	能代市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
78	能代市保坂福祉会館の指定管理者の指定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
79	能代市養護老人ホーム、能代市老人デイサービスセンター及び能代市認知症老人グループホームの指定管理者の指定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
80	能代市老人デイサービスセンターの指定管理者の指定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
81	能代市老人デイサービスセンターの指定管理者の指定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議案番号等	議案名等	採決結果	平政・公明党							希望					改革ネットワーク (市民の声、日本共産党、改革のしろ)				議会改革を 推進する諸派の会					
			渡邊正人	落合範良	針金勝彦	原田悦子	庄司紘八	渡辺優子	後藤健	藤原良範	武田正廣	菅原隆文	佐藤智一	伊藤洋文	安井和則	菊地時子	小林秀彦	安岡明雄	渡辺芳勝	藤田克美	小野立	落合康友	中田満	畠山一男
			82	能代市公民館条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
83	財産の無償譲渡について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
84	能代市農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数に関する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
85	能代市牧野管理条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
86	二ツ井総合観光センター条例の廃止について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
87	二ツ井総合観光センターの指定管理者の指定の一部変更について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
88	能代市技術開発センター及び能代市木の学校の指定管理者の指定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
89	平成29年度能代市一般会計補正予算(修正動議)	否決	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
89	平成29年度能代市一般会計補正予算	可決	—	—	—	—	—	—	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
90	平成29年度能代市簡易水道事業特別会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
91	平成29年度能代市浄化槽整備事業特別会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
92	平成29年度能代市介護保険特別会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
93	平成29年度能代市水道事業会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
94	平成29年度能代市下水道事業会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
95	能代市職員の給与に関する条例及び能代市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
96	能代市特別職の職員の給与に関する条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
97	議会の議員の職員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○
98	能代市教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
99	平成29年度能代市一般会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
100	平成29年度能代市簡易水道事業特別会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
101	平成29年度能代市浄化槽整備事業特別会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
102	平成29年度能代市介護保険特別会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
103	平成29年度能代市水道事業会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
104	平成29年度能代市下水道事業会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議(3)	能代市議会の議員の定数を定める条例の一部改正について	否決	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
議(4)	能代市議会の議員の定数を定める条例の一部改正について	可決	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議(5)	道路整備に係る補助率等のかさ上げ措置の継続及び道路整備予算の拡充を求める意見書提出について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳57	核兵器禁止条約に署名・批准を求める意見書提出について	不採択	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳58	消費税を10%に増税することを中止することを国に求める意見書提出について	不採択	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳59	議会選出菅原監査委員の解任・謝罪の要求について	不採択	—	—	—	—	—	—	—	除斥	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
陳60	「介護保険制度の改善、介護報酬の引き上げ、介護従事者の処遇改善と確保を国に求める」意見書提出について	不採択	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳61	国民健康保険都道府県単位化に係る秋田県への意見書提出について	不採択	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳62	米の生産費を償う価格下支え制度を求める意見書提出について	不採択	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳63	種子法廃止に伴う万全の対策を求める意見書提出について	採択	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※除斥・・・審議を公正に行うため、審議事件と一定の利害関係を有する議員が、当該議事に参加できなくなること。

渡邊 正人

平政・公明党

子育て環境の向上への取り組み

質 能代市では、子供を産み育てていく環境の向上を図るために多くの子育て支援サービスを行っているが、父子健康手帳の現状と今後の考えは。

答 本市における父子健康手帳は、平成23年度に県が各市町村窓口で配付したことから始まり、26年度からは市の単独事業として、育児を楽しみ、積極的に子育てにかかわる父親をふやすために継続して取り組んでいる。母子手帳との同時配付、担当課窓口への設置のほか、今後は能代市へ転入した子育て世帯に配付案内を行うなど、さらに周知に努めたい。

地域防災力の充実強化

質 防災活動の担い手となる消防団員を確保することが困難となる中、職場単位や18歳以上の学生の加入があげられるが、女性消防団員を含めた消防団員の加入促進についての考え方は。

答 市では消防団協力事業所表示制度及び報償金支給制度等を導入しているほか、災害活動に必要な装備の拡充、福利厚生制度の周知、広報や各種イベント等でのPR活動、各分団での地元住民への勧誘活動等を実施している。今後はこれらの取り組みに加え、女性消防団員や学生等を対象とした機能別団員の加入促進についても検討したい。

その他の質問事項

- 次期市長選挙
- 平成30年度当初予算編成
- 防災士養成とネットワークづくり

菊地 時子

改革ネットワーク（市民の声、日本共産党、改革のしろ）

介護保険制度

質 国の介護報酬改定では「自立支援」重視を打ち出している。改善の難しい利用者のサービスに支障はないか。また、低所得者対策として「社会福祉法人による利用者負担軽減制度事業」の実施状況は。

答 今回の介護報酬改定は、団塊の世代が75歳を迎える2025年以降の人口構造の変化を見据え、全国的な課題に対応するためのものであり、本市でもやむを得ないものだと考えている。市では低所得で生計が困難である利用者等について、国の要綱に基づき利用者の負担軽減措置を実施しているが、11月末現在、制度利用している市内の方はいない。

災害の対応力（避難所対応）

質 多発する災害にどう対応するかの研修で、避難所機能を考慮した環境整備の取り組みについて考えさせられた。学校へのエアコン、ひとり用シャワーブース、誰でも使えるトイレなどの設置の検討を。

答 大規模災害発生時であっても、授業再開のため普通教室が長期間にわたり避難所となることは少ないと考えており、災害時の一時的な使用のためにエアコンを設置することは考えていない。シャワーブース等については、他の事例を参考にしながら、さまざまな立場の方に配慮した避難所対応について研究していきたい。

その他の質問事項

- 介護保険料・利用料の動向
- 人権教育の推進
- 学校給食の無償化

佐藤 智一

希望

求人状況や企業の声から雇用情勢の認識は

質 有効求人倍率が過去最高の1.70倍となっている。各事業所からは人材確保が厳しいとの声がある中、当市の雇用情勢についてどのような認識か。

答 求人・求職バランスシートによると、サービス業が3.67倍、専門的・技術的職業が2.80倍と高い倍率の一方、事務的職業が0.43倍と著しく低い水準にあり、求人と求職のミスマッチが生じている状況にあると認識している。市としては、効果的な取り組みについて、ハローワーク、県、関係団体と連携しながら検討していきたい。

地元就職への市民の理解をどう醸成するか

質 人材を確保する上で、まずは市民自身が地域企業を知り可能性を理解し、それに支援協力する風土が必要ではないか。いかに市民の理解を醸成させていくのか。

答 市では、地元企業の魅力を発信する市内企業PR事業の中で市内企業を市のホームページや広報、冊子等で紹介するとともに、高校生・保護者・教諭等を対象とした市内企業見学バスツアーを実施している。今後関係団体等と連携し、地域を支える人材が、将来に希望を持ち、安心して地元で活躍できる環境の整備に取り組んでいきたい。

その他の質問事項

- 若年転出者へのフォローアップは
- 外国人労働者と事業主の支援窓口を
- 未就労障がい者の実態と自立への課題

小野 立

議会改革を推進する諸派の会

産廃問題、解決に向け市は主体的努力を

【問】 今回の掘削工事では424本のドラム缶が掘り出されたが、県は埋め戻す意向だ。市民の健康を守る責任はまず市にある。解決に向けた具体的なプロセスを市自身も考えるべき。

【答】 能代産業廃棄物処理センターの環境保全対策については県が主体となって講じており、これまでも秋田県、能代市、浅内財産区、住民5団体で組織している能代産業廃棄物処理センター環境対策協議会の中で協議を重ねてきた。今後もこれまで同様、環境対策協議会を中心として、地元住民とともに環境保全対策に取り組んでいきたい。

イオン出店後のまちづくり

【問】 現在の市独自の中心市街地活性化策に効果がなっていないのは一目瞭然である。市はイオン出店後、直ちに準工業地域への大規模施設の立地制限を行い、国の重点支援を引き入れるべき。

【答】 市としては現在、そうした規制については考えていない。しかし今後、中心市街地活性化に向け、どのような事業が計画されるのか、また、準工業地域において、どのような土地利用が見込まれるのか等の状況を踏まえ、より有利で効果的な手法であるようであれば、いわゆるまちづくり3法による重点支援の活用も選択肢の一つになると考えている。

その他の質問事項

- 出店は非の判断、市民になぜ許さぬ
- 柳町のイオン能代店の存続
- 齊藤市政3期目の自己評価は

渡辺 優子

平政・公明党

認定ヘルパーの育成

【問】 介護人材の確保が難しい状況になることが予想されることから、介護福祉士といった専門知識がなくとも市が総合事業による「認定ヘルパー」を育成し「要支援」の人向けの家事援助を行うべき。

【答】 現在、市では、各地域の実態等を把握するため、自治会、民生委員、ボランティア団体等から構成される協議体の設置や、生活支援コーディネーターの配置を進めていくこととしている。来年4月から委託する地域包括支援センターとあわせ、地域での住民主体による実施基盤をより充実させた上で、本市にあった独自サービスについて検討したい。

自己検診用グローブを配布する考えは

【問】 乳がんの早期発見につながるため、自己検診用の「乳がんグローブ」がある。このグローブはしこりなどの異常を見つけやすい素材でできている。市でもこのグローブを配布し、注意喚起に努めるべき。

【答】 このグローブは、肌への密着性の高いシートを使用した手袋状の乳房自己検診補助具である。乳がん検診は、国の指針により40歳以上の方が対象で、2年に1回が原則とされているため、保健センターの受診者に対し、次回検診時までの自己検診用として、今年度からグローブを配布している。今後は、配布する年齢や機会等についてさらに検討したい。

その他の質問事項

- 専門職大学

小林 秀彦

改革ネットワーク（市民の声、日本共産党、改革のしろ）

イージス・アシヨアの本県配備

【問】 イージス・アシヨアの候補地として、秋田市の陸上自衛隊新屋演習場が検討されているが、県民からは不安の声が上がっている。配備の必要性、影響や危険性の説明を県とともに国に求めていくべき。

【答】 11月22日の参議院本会議における防衛大臣の発言では「現時点では、どの場所に配置するのかについては、なんら決定していない。」とした上で、「導入に当たっては地元の理解と協力を得ることが必須であり、地元に対して丁寧に説明する。」との新聞報道もあることから、今後の国の動向や県の対応を注視していきたい。

農家の米価下落に対する市の対応

【問】 米の直接支払交付金が廃止され、国が生産調整から撤退したことで、農家から米価下落の不安の声が出ている。市としてどういった対応をするのか。

【答】 米価の維持・安定のためには、今後も産地・農業者の自主的な生産調整が必要であることを農業者の皆様と御理解いただくよう、農業指導情報等を通じて呼びかけるとともに、水稻プラス野菜等の複合経営に対する国、県、市の支援策等もあわせて周知を図り、農家の経営安定と所得の向上につながるよう取り組んでいきたい。

その他の質問事項

- イオン出店
- 小形風力発電

安井 和則

希望

能代市中心市街地活性化計画

【質】 中心市街地の空洞化が進んでいるが、若者の移住、定住の促進を視野に入れた空き地空き家対策として、移住定住した場合は、固定資産税の減免等、税制の優遇など独自政策を講ずる考えはないか。

【答】 市では現在、空き家情報を提供する「空き家バンク事業」、能代山本圏域外から市内へ移住した方の空き家リフォーム費用を助成する「移住促進空き家改修事業」等を行っている。国の制度等も活用し、引き続き移住定住促進や空き家対策に取り組み、中心市街地の活性化につなげたい。提案の固定資産税の減免についても手法の一つとして参考にしたい。

水素社会に向けた市の取り組み

【質】 電解水素水（還元水）を使った園芸作物の実証栽培など農業への導入を推進しているが、技術開発が進む再生可能エネルギーと水素を組み合わせた次世代エネルギーを活用した今後の取り組みは。

【答】 本市には液体水素の先進的な研究が行われるJAXA能代ロケット実験場が所在し、水素を製造するためのクリーンな電力を得られる風力発電の適地という優位性がある。水素社会の実現に向けて取り組み、将来的には、非常時の電力供給が可能な安心・安全なまちづくりや、電解水素水・熱供給による農業振興、関連企業の誘致につなげたい。

その他の質問事項

- 中心市街地活性化計画の対象区域
- 能代西高等学校用地の活用計画は
- 小規模事業者への補助制度の拡充を

落合 康友

議会改革を推進する諸派の会

地域間格差のない子供の遊び場の充足

【質】 郊外学区には公園施設が少ない。市街地の子供は整備された空間で伸び伸び遊べるのに、郊外の子供はそれができないとすると、子育て環境に地域間格差がある。全地域が平等でしかるべき。

【答】 一学区内に最低一カ所の遊び場とのことだが、現在の小学校12学区における公園等の配置状況を確認したところ、竹生小学校の学区には、市の公園等がなかった。今後の公園整備については、子供の遊び場としての整備も含め、地域の要望があれば、地の協力体制や利用者数、費用対効果等を勘案しながら、市民協働を基本に検討したい。

持続可能な行財政運営実現への考え方

【質】 今後厳しい財政運営が強いられていくが、縮小社会に適合した、持続可能な行財政運営の抜本的構築に集中的に取り組むことが喫緊の課題であると私は主張してきた。来年度予算編成の考えは。

【答】 30年度は第2次能代市総合計画の初年度となることから、将来像「わのまち能代」の実現のため、それぞれの施策を推進していく。今後の厳しい財政状況を勘案し、最少の経費で最大の効果を上げるよう全ての事務事業について、その緊急性、必要性、効果等の観点から厳しく洗い直し、統廃合や効率化を図られるような予算編成を行いたい。

その他の質問事項

- 地域おこし協力隊の募集要件
- 市職員過重労働の解消
- イオン出店詳細を早急に明示せよ

安岡 明雄

改革ネットワーク（市民の声、日本共産党、改革のしろ）

制定して5年経つ健康づくり推進条例

【質】 市民のいのちと健康を守るのが条例の目的であり、具体的成果が伴わなければならない。目的達成のため、あらゆる手立てを講ずるべきではないか。現状認識とともに伺う。

【答】 がん検診の受診率、健康に関するイベントや講演会、講座等の参加者は増加傾向にあり、市民の健康への意識の高まりを感じているが、行動へつなげていく工夫も必要であると考えている。市内の各学校では、がん教育を実施しており、子供も言めた、がんに対する正しい知識の普及に、なお一層努めたい。

働き方改革を市役所で実践すること

【質】 時間外勤務月100時間を超える職員が12名と、憂慮すべき状況である。窓口の外部委託、業務改善専門家の雇用等で、業務の質を維持しながら、業務量を減らす抜本改革を推進すべきでは。

【答】 行政二一スの多様化・高度化等により職員の業務量はふえており、職員数とのバランスを図るため、業務委託も含め、業務量の削減について検討したい。

その他の質問事項

- 総合計画実施計画をどう進めるか
- 事業の検証を具体的にあらわすべきだ
- ARR活用による檜山のまちづくり

議会運営委員会行政視察報告

視察日 10月3日～4日
視察市 大阪府堺市
視察項目

- ・ 政務活動費の使途基準
- ・ 議会報告会
- ・ 委員会の情報公開

政務活動費の適正な支出に向けた取り組み

堺市は84万の人口を抱え、今年度当初予算は約7598億円（本市は約284億円）、政務活動費は議員一人あたり月額30万円（同・月額1万円）と、本市とは財政的な条件が大きく異なる政令指定都市である。

同市では、平成26～27年度に現職市議による政務活動費の不適正支出が問題化し、一部議員の辞職にまで発展したことをきっかけに、適正化に向けた具体的な取り組みが進んでいる。

その主なものは、四半期ごとの領収書等の提出、使途の透明性を高めるための提出書類の追加（貸借契約書の写し、雇用契約書の写し、出張報告書、チラシ等の見積書、納品書、請求書及び成果物ほか）、弁護士と大学教員による書類検査の実施、領収書等のインターネット公開である。

使途項目別に案分率が定められ、旅費については、実費分の支給を原則としている。

オープンにまちの未来を語る議会報告会

議会報告会は2部構成で、第1部が議会報告、第2部は議員との懇談「トークカフェ」。議会報告会とは銘打っているが、まちの未来をオープンに語る第2部が、事実上のメインとなっており、規則で議員が個人の意見を述べないことを原

則としている本市の議会報告会とは様相が異なる。

懇談には「ワールドカフェ方式」を採用。各常任委員会ごとに2つのテーブルが用意され、その委員会に所属する議員が二手に分かれて着座。参加者は、参加申し込み時に、懇談を希望する委員会名を第3希望まで申し出ておく。参加者が2つの委員会のテーブルで各25分間、議員と懇談する。所定の時間にテーブルの全員が発言できる工夫もなされる。

意見交換のテーマは各委員会に一任されており、28年度は例えば、「防災・防犯・消防」（市民人権委員会）、「産業振興」（産業環境委員会）、「公共交通」（建設委員会）、「いじめ・不登校対策」（文教委員会）、「読みたくなる広報さかい」（総務財政委員会）、「子育て支援」（健康福祉委員会）について懇談が持たれた。

委員会の情報公開

常任委員会、特別委員会は定員10人、議会運営委員会は定員5人で傍聴ができる。委員会の審査内容は「広報さかい」で市民に周知される。委員会の会議録は、市の図書館等で閲覧できるほか、インターネットで公開されている。また、議会運営委員会を除く委員会の映像（生中継・録画中継）は、インターネットで閲覧できる。

（小野 立）



議員定数に関する検討会報告書を提出しました

議員定数に関する検討会の伊藤洋文座長は11月21日、議会運営委員会の小野立委員長に議員定数に関する検討会報告書を手渡しました。

検討会は6回開催され、議員定数を現行の22人から4人減とすべきである（平政・公明党）、2人減とすべきである（希望、改革ネット）ワーク、議会改革を推進する諸派の会）の二つの意見が出されました。意見の一致に向け協議を行いました。が、結論が変わらなかったことから、報告書は両論併記となりました。



議員の定数を定める条例を一部改正しました

12月定例議会にて、議員定数を現行の22人から18人に改める改正案（議会議案第3号）を平政・公明党が提出し、議員定数を現行の22人から20人に改める改正案（議会議案第4号）を希望、改革ネットワーク、議会改革を推進する諸派の会の各会派代表者が連名で提出しました。

採決の結果、20人に改める改正案が賛成多数で可決されました。

改正後の条例は、今年4月8日告示、15日投開票の能代市議会議員選挙から適用されます。

各委員会での主な審査概要

総務企画委員会

質 基本構想について、現在の求人状況や労働市場の状況に鑑みれば、労働力の確保が喫緊の課題と考えるが、これを解消するものは盛り込まれているか。

答 雇用の確保については十分ではないとの基本認識のもと、「雇用とにぎわいを生み出す商工業」という政策を掲げ、企業立地や起業及び地元企業の活性化等による雇用創出を目指すこととしている。さらに基本計画の冒頭では、「若者の定住につながる産業振興と雇用確保」を重要課題として位置づけることとしており、重点的に取り組む計画となっている。

質 第一次総合計画の分析、評価が必要と考えるが、どのように行ったのか。

答 市民の代表である市民協働会議で分析、評価をいただいたっており、その結果を、順調、不調といったわかりやすい形で表記して公表している。

質 目標を達成するためにも、市民と対話する機会を設ける姿勢が重要ではないか。

答 対話の重要性は認識しており、市民協働会議で評価していただくことも対話の一環と考えているが、今後市民の意見を広く聞くことができる手法等を検討していきたい。

質 道の駅ふたつ条例制定について、災害時の役割や防災拠点としての機能を盛り込む必要はないか。

答 今回の条例案には盛り込まれていないが、基本計画等では防災拠点となることを示していることから、それに基づいた運用を行うこととなる。

質 道の駅の名称は。

答 基本計画・管理運営計画策定の際の検討委員会では、20年以上にわたり親しまれている施設であり、名称や愛称を変更する必要はない、との意見であったことから、「道の駅ふたつ」「愛称「きみまちの里」として対外的にPRしていきたい。

質 普通財産管理費のアスベスト事前調査業務の対象箇所は。

答 今後公売等が想定されている旧第5庁舎が調査対象となる。

質 全国瞬時警報システム（Jアラート）の新型受信機について、現行のものとの違いは。

答 新型受信機では、国からの警報を受信して放送されるまでの時間が大幅に短縮されることに加え、特別警報の種類が2種類から6種類にふえる。

（小野 立）



総務企画委員会の様子

文教民生委員会

質 能代市保坂福祉会館の指定管理者の指定について、施設の利用状況は。

答 平成20年度の1万4572人をピークに減少し、26年度は8427人、27年度からは趣味講座の拡充を図ったところ利用者がふえ、28年度は9607人となった。

質 能代東デイサービスセンターの指定期間終了後の職員の配置などについて、指定管理者とどのように話しているのか。

答 29年4月1日現在、職員が4名、臨時職員が2名、パートが8名の計14名が勤務している。指定管理者は、廃止となっても他の施設で雇用していきたい意向を示している。

質 社会福祉法人による低所得者利用者負担軽減制度事業について、施設が廃止となれば事業を受けられる施設も少なくなるが。

答 軽減制度実施施設は、社会福祉協議会が運営している東デイサービスセンター、ふれあいデイサービスセンター、緑町デイサービスセンターの3施設。東デイサービスが廃止となれば、残りの2施設を利用していたきたい。11月末現在、軽減制度の利用者はいない状況である。

質 指定期間終了後、施設はどのような扱いになるのか。

答 庁内で活用方法について検討することとなるが、活用方法がなければ現在の行政財産から普通財産へ変更し、貸し付け、売却、解体等の判断をすることとなる。

質 能代市二ツ井公民館馬子岱分館の建物等を、馬子岱町内会に無償譲渡する案件について、今回の譲渡に先立ち、市で改修等を行った箇所はあるのか。

答 屋根のふきかえのほか、地元から要望のあった押し入れ内側の取りかえや窓を二重サッシに改修したほか、今後はトイレの洋式化、簡易水洗の改修を行い、譲渡することとしている。

質 能代地区は市が所有する集会所が少なく地元の負担で改修することが多いが、二ツ井地区は市が所有する集会所が多いため、市で改修を行った上で無償譲渡している。能代地区と二ツ井地区での改修についてはどのように考えているのか。

答 今回譲渡しようとしている建物は、学校施設などとして建てられたものであり、それを分館及び集会所として活用してきた経緯がある。分館を廃止しても、まだ集会所として使用できるのであれば、ある程度の改修を行った上で譲渡したい。

（落合康友）

産業建設委員会

質 新たに設けられた農地利用最適化推進委員の任務や定数は。

答 地域の農業者との話し合いを積極的に行いながら、農地利用の集積・集約化を推進することや、遊休農地の発生防止や解消に努めることなどの活動が考えられる。定数は、担当区域を現在の選挙区と同じ3区域と想定し、1区域6人、合わせて18人とした。

質 農業委員が任命されるまでの流れは。

答 2月下旬から3月ごろに推薦公募を実施、4月から5月にかけて選考委員会を開催、6月の能代市議会に議案を提出、そして任期開始の7月20日に新たな農業委員を任命したい。

質 新たなハンターの育成や熊の捕獲対策は。

答 県では、今年度から猟銃免許を新たに取得する方を助成することとしており、本市においても支援を行う方向で検討している。

質 熊の出没により人身被害が想定されるなど、緊急を要する場合の許可申請は。

答 熊を捕獲する際は、県に対して文書による鳥獣捕獲許可申請が必要だが、緊急を要する場合は、口頭での申請も認められ、早急に対応できるようにになっている。来年度からは

さらに迅速に対応するため、各市町村の判断で捕獲できるよう、許可権限を市町村に委譲することが検討されている。

質 北前船日本遺産推進協議会負担金の概要は。

答 北前船日本遺産への追加登録申請に係る経費として、取りまとめをしている協議会へ納付する負担金である。現在、全国27市町村が追加登録に向け資料作成等をしており、協議会では文化庁へ年度内に一括して申請することを目指す。

質 大館能代空港利用助成金に該当しないチケットは何か。

答 既に割引され、支援の必要がないと考えられる格安チケットは助成金の対象とならない。今後、助成対象の範囲を拡大させるよう検討を行っている。

質 大館能代空港増便の要望は。

答 搭乗率がようやく50%を超えた状況であり、現状はまだ増便の段階ではないと思われる。空港利用助成金事業の充実を図ることなどにより利用者をふやし、増便につなげていきたい。また、日帰りが可能となる運行についても要望していきたい。また、首都圏からのビジネス客や観光客等が大館能代空港を利用し、地元で消費し、地域経済の活性化が見込まれるような対策も検討していきたい。

(小林秀彦)

議会基本条例策定 特別委員会

今後の委員会の進め方について

協議結果 県内他市議会の議会基本条例策定スケジュールより、議案上程までの1年から2年程度の間には委員会を多数開催し議論を重ねていること、意見交換会やパブリックコメント等を通じ市民の意見を聴取していること、全員協議会等で全議員の意見を伺っていること等の事例を確認し、現委員任期中での策定は日程的に困難であるとした。

素案策定に向けて

協議結果 会派希望が作成した基本条例の素案を、本委員会におけるたたき台とし、今後内容の協議を進めることとした。

たたき台と、能代市議会会議規則等、既存の条例・規則との整合性の図り方について

意見 整合性を確認することを優先し、条文等についてはその後検討すべきである。

意見 まずは条文等を含め、基本条例の素案の策定を進め、整合性がとれない箇所が生じた場合には、後に既存の条例等を修正すべきである。

意見 既存の条例・規則には余り手を加えずに基本条例をまとめるべきである。

協議結果 まずは項目の検討を進めることとし、条文については他の条例等との整合性を含めて内容を検討することとした。

全員協議会やパブリックコメント、住民説明会等の必要性について

協議結果 全員協議会については素案策定の過程において、パブリックコメントや住民説明会については素案策定の後に、市当局との協議も含め、実施は必要であるとした。

(落合康友)



議会基本条例策定特別委員会の様子

庁舎整備特別委員会の解散

10月1日に庁舎完成記念式典が挙行され、第四庁舎解体工事、旧淳城第二小学校管理教室棟解体工事七年度内に終えることになっております。今後の庁舎整備に関する事務・事業の審査については、総務企画委員会に対応できると考えることから、庁舎整備特別委員会は所期の目的を果たし、任務は終了したものと考え、12月をもって解散しました。

意見書の提出

今定例会では、1件の意見書を可決し、関係行政庁等へ提出しました。
◆道路整備に係る補助率等のかさ上げ措置の継続及び道路整備予算の拡充を求める意見書

議長の主な動き 10月~12月

- ・能代山本広域市町村圏組合議会定例会
- ・秋田県後期高齢者医療広域連合議会定例会
- ・全国過疎地域自立促進連盟定期総会
- ・秋田県北部市議会連絡協議会中央要望
- ・秋田県市議会議長会臨時会
- ・能代山本広域市町村圏組合議会臨時会

議会の主な動き

10月3日	議会議事委員会行政視察 (4日中)
17日	文教民生委員会管内視察
19日	産業建設委員会管内視察
20日	総務企画委員会管内視察
27日	全員協議会
11月13日	庁舎整備特別委員会
13日	決算特別委員会
31日	議会基本条例策定特別委員会
11月28日	総務企画委員会協議会
21日	会派代表者会議
12月5日	議会運営委員会
12月12日	12月定例会開会
14日	会派代表者会議
18日	議会運営委員会
20日	各常任委員会
	議会運営委員会
	議会基本条例策定特別委員会
	議会運営委員会
	12月定例会閉会

請願・陳情の提出

3月定例会の請願・陳情の提出は、開会日(2月20日)の午前10時までとなっています。

【議会を傍聴しませんか】

3月定例会の本会議は、本庁舎(新庁舎)3階の議場で行います。予定は左の表のとおりです。どなたでも傍聴できますのでお気軽においでください。備え付けの「傍聴者名簿」に氏名・住所を記入し、傍聴席へお入りください。

また、耳の聞こえにくい方が音声を聞き取りやすくするための装置である磁気ループシステムを議場傍聴席に導入しています。利用を希望される場合は、傍聴希望日の前日(土曜・日曜及び祝日を除く)までに議会事務局にお申し出ください。

3月定例会の予定

(招集場所：能代市本庁舎議場)

- 2月20日(火)……………開会・提案説明
- 26日(月)~27日(火)……………一般質問
- 28日(水)……………一般質問・議案の質疑
- 3月1日(木)~2日(金)……………議案の質疑
- 5日(月)~7日(水)……………常任委員会
- 8日(木)……………議会基本条例策定特別委員会
- 14日(水)……………議決・閉会

会議の日程及び開議時刻(午前10時)は変更する場合がありますので、議会事務局までお問い合わせください。

議長の交際費を公開します《10月~12月分》

- ・全国ねぎサミット産地交流会 5,000円
- ・第23回きみまちの里フェスティバル
マラソン歓迎レセプション 5,000円
- ・能代商工会議所青年部創立30周年記念祝賀会 10,000円
- ・銀河連邦交流30周年記念フォーラム歓迎レセプション 5,000円
- ・女流本因坊戦前夜祭 7,000円
- ・日本海沿岸東北自動車道北部期成同盟会
秋期合同要望活動終了後の懇親会 10,000円
- ・平成29年度「関東能代会」の集い、総会後の懇親会 8,000円
- ・能代商工会議所創立70周年記念祝賀会 10,000円

※詳しくは新庁舎1階の行政情報コーナーで閲覧できます。
※議長交際費は「能代市長の交際費に関する規定」に準じて支出しております。

本会議のインターネット中継を行っています

インターネット動画サイト「YouTube」を利用し、本会議のライブ中継と録画中継を行っています。市ホームページ「能代市議会」のページでも本会議の様子を見ることが出来ます。

なお、本庁舎(新庁舎)1階市民交流スペース及び二ツ井町庁舎1階市民フロアに、設置している大型モニターでもライブ中継を見ることが出来ます。

会議録が閲覧できます

市ホームページ等から市議会会議録の検索と閲覧ができます。下記URLからもご覧になれます。

能代市議会会議録の検索と閲覧

<http://ssp.kaigiroku.net/tenant/noshiro/pg/index.html>

編集後記

寒中お見舞い申し上げます。

私どもの任期も、残すところあと三カ月となりました。市議会ではこの四年間、市民に開かれた議会を目指し、会議録のネット公開、議会中継、議会報告会、議会基本条例策定特別委員会の設置等、議会改革に取り組んでまいりましたが、改革はいまだ道半ばです。常に市民目線で行政を監視し、情報が十分に公開され、市民の声がしっかりと市政に反映される状態を維持して初めて、議会は「よき議会」たり得るのだと思います。年頭に当たり、そのことを胸に刻み直した次第です。本年も能代市議会をどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

吹雪やみで物言い交わす隣かな
嶋田五空

(小野 立)

【御意見・御感想をお寄せください】
のしろ市議会だより「わたしのまち」をごらんになった皆様の御意見・御感想をお待ちしております。

〒016-8501

能代市上町1番3号

能代市議会事務局宛

能代市議会 広報委員会

委員長	落合 康
副委員長	藤智 友
委員	小佐藤 秀彦
委員	小野 立
委員	菅原 隆
委員	落合 文
委員	落合 正
委員	落合 良